

事務事業名		下水道施設維持管理事業(浄化センター)		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	02 自然豊かな環境の保全と創造		事業期間		予算科目				
	施策名	04 良好な河川・港環境の保全								
	基本事業名	01 公共下水道等の整備		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成6 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		会計	款	項	目	事業
根拠法令		下水道法、下水道条例・施行規則		13	01	01	02	00		
所属	部課名	都市整備部 下水道事業所								
	課長名	千葉 譲								
	係名	業務係	電話	0192-27-3111						
	担当者	鈴木恭子	内線	201						
・大船渡町にある浄化センターの運転管理、環境整備などの施設および設備の管理を行う事業。また、定期的な点検整備、修繕工事(委託)をし、必要に応じて機器の取替え、更新を行う。 ・主な業務は、施設運転管理(委託)、定期点検整備(委託)、修繕工事(委託)。 ・事業費は、施設運転管理に要する費用及び維持管理などの委託費用や光熱水費等として支出される。				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
				総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			
							都道府県支出金			
							地方債			
							その他			
							一般財源			
							事業費計(A)	0		
					人件費	正規職員従事人数				
						延べ業務時間				
						人件費計(B)	0			
						トータルコスト(A)+(B)	0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動) 施設運転管理(委託)、定期点検整備(委託)、修繕工事(委託)	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 浄化センターの点検・維持補修箇所数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	ア 浄化センターの点検・維持補修箇所数	箇所	イ		ウ	
名称	単位								
ア 浄化センターの点検・維持補修箇所数	箇所								
イ									
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度と同じ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
・下水道供用開始地区で集められた汚水 ・浄化センター ・下水道利用者	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 流入水量(日最大)</td> <td>m³/日</td> </tr> <tr> <td>キ 浄化センター汚水処理能力</td> <td>m³/日</td> </tr> <tr> <td>ク 供用開始区域内人口</td> <td>人</td> </tr> </table>	名称	単位	カ 流入水量(日最大)	m ³ /日	キ 浄化センター汚水処理能力	m ³ /日	ク 供用開始区域内人口	人
名称	単位								
カ 流入水量(日最大)	m ³ /日								
キ 浄化センター汚水処理能力	m ³ /日								
ク 供用開始区域内人口	人								
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設の機能を適切に維持管理し、汚水を水質基準に適合するように適正に処理する。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 放流水BOD(生物化学的酸素要求量)</td> <td>mg/1平均</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>	名称	単位	サ 放流水BOD(生物化学的酸素要求量)	mg/1平均	シ		ス	
名称	単位								
サ 放流水BOD(生物化学的酸素要求量)	mg/1平均								
シ									
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 港湾・河川への環境負荷を軽減し、公共用水域の水質を保全する。									

(2) 総事業費・指標等の推移																																																																																																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="8">年度</th> </tr> <tr> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> <th colspan="2"></th> </tr> <tr> <td rowspan="7">投入量</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>29,798</td> <td>79,335</td> <td>90,639</td> <td>104,279</td> <td>121,197</td> <td>121,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>29,798</td> <td>79,335</td> <td>90,639</td> <td>104,279</td> <td>121,197</td> <td>121,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td>人</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>時間</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>96</td> <td>96</td> <td>96</td> <td>96</td> <td>96</td> <td>96</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>29,894</td> <td>79,431</td> <td>90,735</td> <td>104,375</td> <td>121,293</td> <td>121,096</td> <td></td> </tr> </table>		単位	年度								23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)			投入量	国庫支出金	千円								都道府県支出金	千円								地方債	千円								その他	千円	29,798	79,335	90,639	104,279	121,197	121,000		一般財源	千円								事業費計(A)	千円	29,798	79,335	90,639	104,279	121,197	121,000		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1	延べ業務時間	時間	24	24	24	24	24	24	24	人件費計(B)	千円	96	96	96	96	96	96	96	トータルコスト(A)+(B)	千円	29,894	79,431	90,735	104,375	121,293	121,096	
単位	年度																																																																																																												
	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)																																																																																																							
投入量	国庫支出金	千円																																																																																																											
	都道府県支出金	千円																																																																																																											
	地方債	千円																																																																																																											
	その他	千円	29,798	79,335	90,639	104,279	121,197	121,000																																																																																																					
	一般財源	千円																																																																																																											
	事業費計(A)	千円	29,798	79,335	90,639	104,279	121,197	121,000																																																																																																					
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	1																																																																																																				
延べ業務時間	時間	24	24	24	24	24	24	24																																																																																																					
人件費計(B)	千円	96	96	96	96	96	96	96																																																																																																					
トータルコスト(A)+(B)	千円	29,894	79,431	90,735	104,375	121,293	121,096																																																																																																						
⑤ 活動指標	<table border="1"> <tr> <td>ア</td> <td>箇所</td> <td>0</td> <td>26</td> <td>12</td> <td>28</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	ア	箇所	0	26	12	28	8	8	イ								ウ																																																																																											
ア	箇所	0	26	12	28	8	8																																																																																																						
イ																																																																																																													
ウ																																																																																																													
⑥ 対象指標	<table border="1"> <tr> <td>カ</td> <td>m³/日</td> <td>3,458</td> <td>5,905</td> <td>6,898</td> <td>10,435</td> <td>6,400</td> <td>6,400</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td>m³/日</td> <td>3,200</td> <td>6,400</td> <td>6,400</td> <td>6,400</td> <td>6,400</td> <td>6,400</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td>人</td> <td>11,726</td> <td>9,629</td> <td>9,691</td> <td>10,364</td> <td>12,000</td> <td>15,320</td> </tr> </table>	カ	m ³ /日	3,458	5,905	6,898	10,435	6,400	6,400	キ	m ³ /日	3,200	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	ク	人	11,726	9,629	9,691	10,364	12,000	15,320																																																																																				
カ	m ³ /日	3,458	5,905	6,898	10,435	6,400	6,400																																																																																																						
キ	m ³ /日	3,200	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400																																																																																																						
ク	人	11,726	9,629	9,691	10,364	12,000	15,320																																																																																																						
⑦ 成果指標	<table border="1"> <tr> <td>サ</td> <td>mg/1平均</td> <td>132.1</td> <td>3.3</td> <td>2.5</td> <td>2.0</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	サ	mg/1平均	132.1	3.3	2.5	2.0	5	5	シ								ス																																																																																											
サ	mg/1平均	132.1	3.3	2.5	2.0	5	5																																																																																																						
シ																																																																																																													
ス																																																																																																													

事務事業ID	0707	事務事業名	下水道施設維持管理事業(浄化センター)
--------	------	-------	---------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成6年に浄化センターが開設され、公共下水道事業の一部供用開始により、その維持管理が必要となった。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・盛町全域並びに大船渡町(須崎川以南の笹崎、永沢地区)、赤崎町の一部の供用開始区域拡大に伴い、流入水量が年々増加している。 ・浄化センターの放流水が注ぐ大船渡湾の水質は、ほぼ現状維持の状態にある。 ・区域内の下水道普及率は徐々に高まっており(26年度末時点49.4%)、供用開始区域内に建物を所有する人には3年以内の下水道への接続が義務づけられている。 ・H23.3.11震災により被災したが、H25.3に全施設・設備の復旧が完了した。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 浄化センターの維持管理は、大船渡湾をはじめとする公共用水域の水質保全につながる。その結果、居住環境の向上に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の適正な維持管理(委託)は、市の義務であり、大船渡湾をはじめとする公共用水域の水質保全にもつながるので妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 供用開始区域の拡大に伴い汚水処理量の増加が見込まれたため、その対応として、17・18年度に施設の増設を行った。流入水量が処理能力を超える日もあるが、処理した放流水は水質基準を満たしている。(降水量が50mm/日以上の日特定されていることから、増加の主な要因は雨水によるものと考えられ、流入水が雨水により薄められていることが要因と考えられる。)
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 現在でも水質基準(15mg/l以下)を達成しており、その水準を維持していく方針である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 施設の機能を適切に維持管理できなくなるため、適切な汚水処理ができなくなってしまう。その結果、本事業を廃止・休止することは、公共用水域の水質汚濁、及び環境の悪化につながる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 庁内に類似事業はない。また、浄化センターの維持管理は、専門的な知識、ノウハウを要するため、現状では他の手段は考えられない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 維持管理費は汚水処理量によるところが大きく、水洗化人口の増加に伴い汚水処理量が増加している現状においては、事業費の浄書は避けられないが、処理水の再利用や機械設備修繕等、業務の精査によりコスト削減に努めている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 平成14年度には、主に電気・計装関係の委託業務を見直して、浄化センターに常駐していた市の職員を2名から1名減員し、平成16年度にも1名減員した。浄化センターの維持管理を全面委託していることから、コストの削減は図られている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 特別会計の下水道使用料で実施している事業であり、下水道を利用している受益者の負担は適正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>下水道の供用開始区域の拡大等に伴い、流入水量が増加し、センターの維持管理業務委託料、汚泥の処分関連費用等が増加した。また、電気料金の値上げによる負担増、設備の不具合による修繕業務等により、前年に比べ事業費が2割程度増加した。 なお、業務内容については、不断の精査を行っている。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 当面、現行の維持管理業務の中で、コスト縮減に努める。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	下水道事業所長	千葉 謙
---------------	-------	---------	------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>流入水量が増加している中、高水準の放流水質の確保が図られた。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 計画的な修繕や省エネの徹底等による事業費の圧縮努力を継続し、高水準にある放流水質の維持に努める。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
